

以下、本文-----

単施設研究用

【情報公開文書】

食道癌に対する術前化学療法、食道切除術の実施、 その治療効果および短期・長期手術成績に関する検討

1. 研究の対象

- ①2010年1月～2022年12月に当院で食道癌または食道胃接合部癌に対して術前化学療法後に食道切除再建術が行われた方
- ②上記の比較対象として2010年1月1日～2022年12月31日の間に、胸部食道癌または食道胃接合部癌と診断され術前化学放射線療法を行った後、食道切除再建術が行われた方

2. 研究目的・方法

食道癌または食道胃接合部癌における術前化学療法および食道切除の治療効果を短期・長期手術成績、予後などを明らかにすることを目的とします。方法は、術前化学療法後、食道切除再建術を施行した胸部食道癌及び食道胃接合部癌患者の診療情報を集積し、術前化学放射線療法後の患者を比較対象とし、予後等を解析します。また、術前治療前の腫瘍生検検体と術前治療後である手術標本検体を用いたバイオマーカー探索も同時に行います。

研究実施期間：研究実施許可日～2027年12月31日

利用を開始する予定日：2024年1月5日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

当院における通常の診断および治療プロトコールに基づき、術前化学療法または化学放射線療法を行った後、食道癌及び食道胃接合部癌の主腫瘍または領域リンパ節、転移臓器を切除します。同手術検体の一部を、術後病理診断の妨げにならない範囲で採取します。術前の組織生検サンプルも本研究試料とします。患者の臨床病理学的情報（深達度、術後成績、リンパ節転移、臓器転移、病期等）や予後等を比較検討します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究機関の名称：秋田大学

所属：秋田大学大学院医学系研究科 胸部外科学講座

職名：医局秘書

氏名：小玉 純

連絡先：秋田県秋田市本道 1-1-1 臨床研究棟 3階

胸部外科学講座 医局

電話番号：018-884-6132

研究責任者：

研究機関の名称：秋田大学

所属：胸部外科学講座

職名：講師

氏名：佐藤 雄亮

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 羽瀧 友則

-----以上